

## 母子保健総合医療医療センター 臨床評価指標《基本情報》

基本情報	平成20年度 数値	平成21年度 数値	平成22年度 数値	単位	収集期間	定義	備考
入院							
稼働病床数	363	371	371	床	平成22年度		実際に使用している入院ベッド数です。
延べ患者数	107,243	105,904	107,409	人	平成22年度		
1日平均入院患者数	294	290	294	人	平成22年度	延べ患者数/365	
新入院患者数	7,625	7,545	7,956	人	平成22年度		
退院患者数	7,616	7,444	7,991	人	平成22年	期間中の退院患者数	一年間に退院した患者さんの数です。
年齢階層別退院患者数(※1)			別紙1参照		平成22年	※入院時点の年令で集計する。	退院患者さんの年齢の特徴を示します。
主要疾患別患者数(※2)			別紙2参照		平成22年	※原則としてICD3桁分類の上位20疾患とする	どのような病気を扱う病院かを示しています。
疾病分類別患者数(※3)			別紙3参照		平成22年		
病床利用率	80.9	78.7	79.4	%	平成22年度		平均して80%近くの入院ベッドが使用されているような状況です。
平均在院日数	13.2	13.2	12.6	日	平成22年度	延べ患者数-退院患者数+1日入院数/(新入院患者数+退院患者数)÷2	急性疾患を取り扱うのか、慢性疾患を取り扱うのか、病院の特徴を示す数字です。
病床回転率	22.4	21.8	23.0	%	平成22年度	(病床利用率/100)×365/平均在院日数	空きベッドの数も考慮して計算された、入院ベッドの利用効率を示します。急性疾患あるいは慢性疾患という特徴を示します。
入院外来比率	138.1	138.0	136.4	%	平成22年度	延べ外来患者数/延べ入院患者数×100	入院加療を中心とする病院か、外来診療を中心とするか、という指標です。
退院患者中の褥創(Ⅱ度以上)の院内発生率	0.2	0.2	0.4	%	平成22年度	Ⅱ度(真皮までの損傷)	
退院計画立案率	11.3	—	23.6	%	平成22年度	退院療養計画書作成数/退院患者数×100	退院療養計画書が作成されている割合です。
退院サマリー完成率	77.7	72.8	67.1	%	平成22年度	2週間以内にサマリーを完成した件数/退院患者数×100(平成22年4-平成23年3月退院分)	

基本情報	平成20年度 数値	平成21年度 数値	平成22年度 数値	単位	収集期間	定義	備考
<b>外 来</b>							
新外来患者数	13,525	13,237	13,988	人	平成22年度	初診料を算定した外来患者数+他科の初診患者数(入院中の外来初診を含む)	
延べ患者数	148,058	148,040	146,526	人	平成22年度		
平均通院回数	10.9	11.2	10.5	回	平成22年度	延べ外来患者数/新外来患者数	
1日平均外来患者数	609	611.7	603.0	人	平成22年度	延べ患者数/診療日数	
紹介率	83.5	79.5	77.6	%	平成22年度		外来患者さんのうち、紹介されてこられる方の割合です。普段のかかりつけというような一次医療が中心か、専門的な病院か、という指標となります。
逆紹介率	24.7	25.5	24.2	%	平成22年度		逆にこの病院から他病院への紹介の割合です。
救急車搬送患者数	494	416	512	人	平成22年度	・救急車で搬送された全ての患者で再診患者、外泊患者等を含む。 ・医療機関に所属する救急自動車(ドクターカー: 自院、他院を含む。)で搬送された患者も含む。	
初診予約率	80.0	85.6	91.6	%	平成22年度	予約があった初診患者数/初診患者数×100	外来の予約制がどの程度浸透しているかを示します。
<b>死 亡</b>							
死亡退院数	46	36	32	人	平成22年度		この病院での一年間の死亡の数です。
粗死亡率	0.6	0.5	0.4	%	平成22年度	死亡患者数/退院患者数×100	この病院に入院した患者さんの死亡の割合です。高度な医療を提供する病院では重症の患者さんを取り扱うことも多いので、この数字は高くなります。
精死亡率	0.3	0.4	0.3	%	平成22年度	(全死亡患者数-入院後48時間以内死亡)/退院患者数×100	入院して48時間以内の死亡は、病院内での診療を反映しないことも多いので、この死亡を除いた上での死亡率です。しかしながら、上記と同様に、高度な医療を提供する病院では重症の患者さんが増え、死亡率が高くなる傾向もあるため、必ずしも病院の診療レベルは反映しません。
剖検数	18	10	11	件	平成22年度		
剖検率	39.1	27.7	34.4	%	平成22年度	・剖検数/死亡退院患者数×100	「剖検」とは病理学的な解剖のことで、死亡した患者さんの死亡原因を詳しく調べる検査です。剖検数が多い病院は死亡原因解明のためにしっかりと取り組んでいるということも示しますが、ご遺族にとって複雑な思いを喚起させる検査でもあり、解釈には注意が必要です。

基本情報	平成20年度 数値	平成21年度 数値	平成22年度 数値	単位	収集期間	定義	備考
<b>手 術</b>							
施設基準に掲げる手術件数(※4)			別紙4参照	件	平成22年度	医科点数表第2表第10部手術の通則の5及び6に掲げる手術の件数(平成22年1月から12月までの件数)	
入院手術件数	3,652	3,522	3,732	件	平成22年度		
日帰り手術患者数	378	391	492	人	平成22年度	※ここでの日帰り手術患者数は、入院基本料を算定しており、手術施行した患者で在院日数1日の患者数をいう。	
全身麻酔件数	3,019	2,871	3,129	件	平成22年		
硬膜外併用脊髄くも膜下麻酔	4	9	5	件	平成22年		
硬膜外麻酔	22	15	30	件	平成22年		
脊髄くも膜下麻酔	513	523	526	件	平成22年		
伝達麻酔	0	0	0	件	平成22年		
その他の麻酔	3	1	1	件	平成22年		
<b>医療安全</b>							
医療事故発生件数	8	11	5	件	平成22年度	公表基準による医療事故(レベル3b以上)の年間件数 レベル3b: 濃厚な処置や治療を要した事例 レベル4: 患者に永続的な障害が残った事例 レベル5: 死亡(原疾患の自然経過によるものを除く。)	医療事故をしっかりと把握し、その年間での件数を示しています。

基本情報	平成20年度 数値	平成21年度 数値	平成22年度 数値	単位	収集期間	定義	備考
その他							
研修医受入れ人数	5	3.9	4.5	人	平成22年度	各月1日における人数の平均 <協力型臨床研修病院>	病院として、医師の教育に積極的に取り組んでいるかを示しています。
レジデント受入れ人数	19	18	18	人	平成22年度	各月1日における人数の平均	
指導医数	58	66	83	人	平成22年4月 現在	※指導医は、臨床研修病院の基準にあるように、5年以上の臨床経験を有するものであって、プライマリケアを中心とした指導を行うことができる経験及び能力を有している者※臨床経験5年以上	
外国人施設見学・研修	7	102	44	人	平成22年度		
医療相談件数	7,857	9,254	8,290	件	平成22年	医療相談室等で受けた相談件数(医療相談の専任者が実施する場合を含む)	社会財政面での患者さんの支援の体制を示しています。
医療相談件数のうち医療ソーシャルワーカーが受けた件数	7,857	9,254	8,290	件	平成22年		
セカンドオピニオン件数	32	51	49	件	平成22年	新規相談件数	
患者対看護職員数	7対1	7対1	7対1		平成22年度	看護体制(一般病棟)	看護体制の充実度を示しています。
認定看護師数	6	6	6	人	平成22年度	日本看護協会が定める認定看護師の有資格者数	新生児集中ケア認定看護師を3名と感染症認定看護師2名、皮膚排泄ケア認定看護師1名を配置しております。
専門看護師数	1	1	1	人	平成22年度	日本看護協会が定める専門看護師の有資格者数	母性看護専門看護師を1名配置しております。
継続看護の実施件数	—	1678	623	人	平成22年度	在宅療養指導料算定(延)患者数(外来のみ)	在宅での療養支援に積極的に取り組んでいるかを示しますが、これも病院の扱い疾患の特徴にも左右されます。平成22年度は算定基準の見直しを行ったため、大幅に数値が減少しています。
院外処方箋率	51.1	51.8	52.8	%	平成22年	院外処方箋枚数/外来処方箋枚数×100	医薬分業に積極的に取り組んでいるかを示していますが、まれな疾患にしか使わない薬を多く処方される病院もあります。
診療情報の開示件数	23	25	31	件	平成22年度	年間の総開示件数	
治験新規契約件数	15	14	10	件	平成22年度	※「治験契約件数」はプロトコル数。また、新規契約と以前からの契約件数(複数年度契約の場合)を合計した数	臨床試験に積極的に取り組み、新しい治療法に貢献しているかを示しています。
クリニカルパス種類数	74	79	110	件	平成22年		
クリニカルパス適用率	47.1	42.3	42.6	%	平成22年	クリニカルパス適用患者数/新入院患者数×100	医療の標準化に積極的に取り組んでいるかを示していますが、高度な医療を提供する病院では適用が難しい場合も多くあります。
放射線治療件数	209	91	130	件	平成22年		

基本情報	平成20年度 数値	平成21年度 数値	平成22年度 数値	単位	収集期間	定義	備考
CT撮影件数	3,480	3,782	4,252	件	平成22年		
MRI撮影件数	2,192	2,095	2,135	件	平成22年		
病院職員のインフルエンザワクチン接種率	89.0	82.0	89.0	%	平成22年度	インフルエンザワクチン予防接種者数/職員数(非常勤含む)×100	職員数は、インフルエンザワクチンの予防接種の申込受付を行う8月1日現在の職員数で算出しています。
職員の健診受診率	94.5	94.1	93.2	%	平成22年度	事業所検診の受診数/検診対象者数×100	

※1年齢階層別退院患者数

(平成22年)

年齢階層	退院患者数	(うち死亡患者数)
28日未満	1474	15
1歳未満	548	5
10歳未満	2725	6
20歳未満	1098	4
30歳未満	708	2
40歳未満	1298	0
50歳未満	136	0
60歳未満	4	0
70歳未満	0	0
80歳未満	0	0
80歳以上	0	0

※入院時年齢により集計した

## ※2 主要疾患別患者数(上位20位)

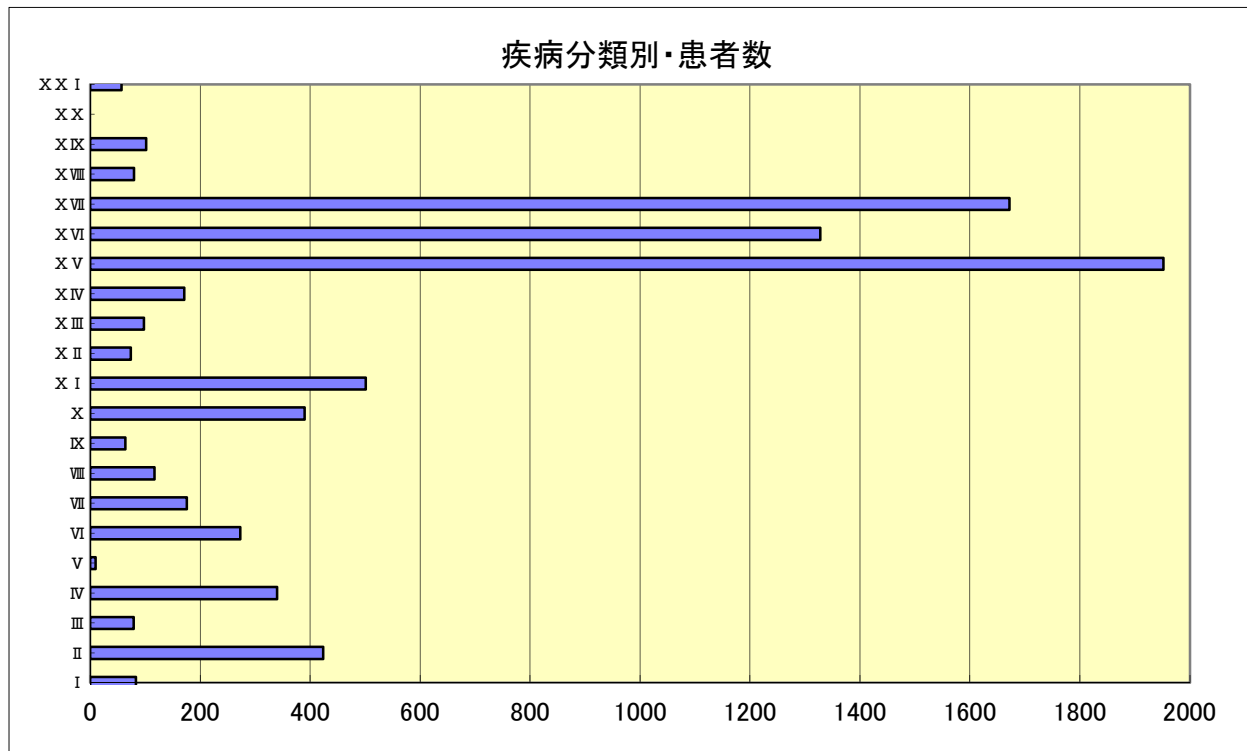
(平成22年)

ICD3桁分類	疾患名	患者数
O80	単胎自然分娩	467
P03	分娩合併症により影響を受けた胎児及び新生児	360
P07	低出生体重児	331
K40	そけい<鼠径>ヘルニア	229
O34	母体骨盤臓器の異常又はその疑いのための母体ケア	190
P00	母体の病態により影響を受けた胎児及び新生児	165
Q21	心(臓)中隔の先天奇形	164
O47	偽陣痛、切迫早産	163
Q37	唇裂を伴う口蓋裂	156
J35	扁桃及びアデノイドの慢性疾患	126
O68	胎児ストレス・仮死<ジストレス>を合併する分娩	123
H50	斜視	122
O36	子宮内胎児発育不全等のための母体ケア	120
E34	内分泌障害	117
Q20	心臓の房室及び結合部の先天奇形	117
Q62	腎盂の先天性閉塞性欠損及び尿管の先天奇形	112
D18	血管腫及びリンパ管腫	84
D22	メラニン細胞性母斑	84
O42	前期破水	81
Q53	停留精巣	81

※3. 疾病分類別患者数・平均在院日数

(平成22年)

分類	患者数	平均在院日数
I 感染症及び寄生虫症(A00-B99)	83	10.2
II 新生物(C00-D48)	424	24.7
III 血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害(D50-D89)	79	37.8
IV 内分泌、栄養および代謝疾患(E00-E90)	340	6.8
V 精神および行動の障害(F00-F99)	10	14.3
VI 神経系の疾患(G00-G99)	273	18.9
VII 眼および付属器の疾患(H00-H59)	176	7.3
VIII 耳および乳様突起の疾患(H60-H95)	117	3.1
IX 循環系の疾患(I00-I99)	64	11.1
X 呼吸系の疾患(J00-J99)	390	9.1
X I 消化系の疾患(K00-K93)	501	6.1
X II 皮膚および皮下組織の疾患(L00-L99)	74	6.6
X III 筋骨格系および結合組織の疾患(M00-M99)	98	17.3
X IV 尿路生殖系の疾患(N00-N99)	171	9.2
X V 妊娠、分娩および産褥(O00-O99)	1952	11.5
X VI 周産期に発生した主要病態(P00-P96)	1328	13.9
X VII 先天奇形、変形、および染色体異常(Q00-Q99)	1672	16.9
X VIII 症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見(R00-R99)	80	11.7
X IX 損傷、中毒およびその他の外因の影響(S00-T98)	102	14.4
X X 傷病および死亡の外因(V01-Y98)	0	0.0
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因および保健サービスの利用(Z00-Z99)	57	3.7



※4 当センターにおいて実施した施設基準に係る手術件数(平成22年)

1. 区分1に分類される手術

		手術の件数	
ア	頭蓋内腫瘍摘出術等	14	頭蓋内腫瘍(腫瘍) 摘出術
イ	黄斑下手術等	2	増殖性硝子体網膜症手術、眼窩内腫瘍摘出術 (表在性)
ウ	鼓室形成手術等	38	鼓室形成手術
エ	肺悪性腫瘍手術等	6	肺切除術
オ	経皮的カテーテル心筋焼灼術	0	

2. 区分2に分類される手術

		手術の件数	
ア	靭帯断裂形成手術等	5	観血的関節授動術
イ	水頭症手術等	53	水頭症手術、髄液シャント抜去術
ウ	鼻副鼻腔悪性腫瘍手術等	0	
エ	尿道形成手術等	70	尿道上(下)裂形成術、尿道形成手術、陰茎形成術 経皮的尿路結石除去術
オ	角膜移植術	0	
カ	肝切除術等	3	肝切除術、臍頭部腫瘍切除術
キ	子宮附属器悪性腫瘍手術等	8	子宮附属器悪性腫瘍手術、造陰術

3. 区分3に分類される手術

		手術の件数	
ア	上顎骨形成術等	1	上顎骨形成術
イ	上顎骨悪性腫瘍手術等	0	
ウ	パセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉)	0	
エ	母指化手術等	3	母指化手術
オ	内反足手術等	5	内反足手術
カ	食道切除再建術等	1	食道切除後2次的再建術
キ	同種腎移植術等	0	

4. その他の区分

		手術の件数	
ア	人工関節置換術	0	
イ	乳児外科施設基準対象手術	45	先天性食道閉鎖症根治術、左心室低形成症候群手術(ノルウッド)、先天性胆道閉鎖症手術、単心室症手術、仙尾部奇形腫手術、胸腹裂孔ヘルニア手術
ウ	ペースメーカー移植術及び ペースメーカー交換術(電池交換を含む。)	4	
エ	冠動脈、大動脈バイパス移植術及び 体外循環を要する手術	84	冠動脈バイパス移植術、心房中隔欠損作成術、心房中隔欠損閉鎖術、心室中隔欠損閉鎖術、肺静脈還流異常症手術、両大血管右室起始症手術、弁置換術、ファロー四徴症手術、大血管転位症手術、弁形成術、肺動脈狭窄症手術、完全(不完全)型房室中隔欠損症手術
オ	経皮的冠動脈形成術等	1	経皮的冠動脈ステント留置術

5. 頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る)

		手術の件数	
	頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る)	17	

当センターにおける年間分娩件数等

平成22年1月~12月	1,622件
産科医師数: 11名	助産師数: 22名(母性中央部のみ)